



正統富士。

茶の文化

「茶の文化」普及会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-1-4
TEL 03-3980-7517 / FAX 03-3784-6581

定価¥300(税込み)

茶の文化

千二百年前に書かれた茶の専門書、茶経の中に南方の茶の大き木が記されています。茶は、世界中に普及しており、これらの国の茶は皆中国と関係があると言われています。伝説によると神農がお湯を沸かしていたところ、木の葉がヒラヒラと飛んで来て、偶然に鍋の中に入り鍋の中から良い香りがしたので飲んでみた、これが茶の始まりとされています。今日のお茶の原点を築いたと言われていて、神農は野草や樹木の葉など、研究した人です。つまり茶の流れは長い間、時が経ち今日に至ったと思います。身近になった中国茶は、六〜七種類あり、中でも烏龍茶は、日本でも一番飲まれています。缶やペットボトル飲料の原料は、緑茶成分抽出によって日本で販売されています。中国茶の種類は、緑茶、白茶、黄茶、青茶、紅茶、黒茶の六種類ですが、産地、製法によって、何百種類もあると言われています。緑茶は不発酵茶。緑茶は、中国でも最も古く、二二〇〜二六〇年頃は、茶葉を餅状に固め火で乾かすようになった。白茶は、軽発酵させる。最初に生産されたのは、清朝時代一七九六年頃と言われる白茶は四種類あります。黄茶は、弱発酵茶で高級茶とされています。緑茶に近い。十六世紀に作られるようになった。

中国茶の文化

青茶は、半発酵、烏龍茶とも言います。福建省、広東省、台湾などで生産されます。品質に優れ又、種類も多い。日本で有名なものは、鉄観音茶、プーアール茶そして杜仲茶です。紅茶は完全発酵です。香りが良く、ほんのり甘く、ストレートで飲むのが主とされています。十七世紀半ば、福建省北部で生産が始まった。中国の紅茶の輸出量は、茶全体の半分を占めると言われています。黒茶は、後発酵茶、十六世紀に生産されるようになり、色はコーヒー色に近い。年数が経つ程価値が出る。茶は、人体に安全で、美容等によいと言われています。

日本の茶は礼儀の文化

日本の茶の文化は、八世紀に遣唐使によって、中国の天台山や越州で修行した最澄らの僧が、茶を伝えて来たと言われています。十二世紀末になると、栄西が茶木を栽培して日本に抹茶を伝え抹茶は、やがて礼儀色を帯び、洗練され、やがて十六世紀になると、千利休により日本の茶道に大輪の花を咲かせる事になり、日本の茶文化の流れが今日に続いています。したがって中国茶の飲みかた文化と中国から入った茶葉は、日本独特の文化を作り、同じ葉でも「中国では、中国的文化」であり「日本では礼儀的文化」と別々の文化となっているようです。

杜仲茶の美味しいお召し上がり方

ティーパックの場合

〈煮出し方〉



●杜仲茶1パックをやかんに入った水(約1L)に入れ、火をかけます。沸騰後、弱火で約3～10分間煮出します。ホットでもアイスでもおいしくいただけます。



●煮出したあとは冷蔵庫に保存し、お早めにお飲みください。



〈急須または湯のみにて〉



●1パックを急須または湯のみやカップに入れ、90～100℃のお湯を注ぎ、約1分～2分置きます。急須やカップには大小ありますが、数回分、約1Lいただけます。お好みにより湯量、濃さを加減してください。

手揉茶の場合

〈煮出し方〉



●杜仲茶3gをやかんに入った水(約1L)に入れ、火をかけます。沸騰後、弱火で約3～10分間煮出します。ホットでもアイスでもおいしくいただけます。



●煮出したあとは冷蔵庫に保存し、お早めにお飲みください。



〈急須にて〉



●少量(約1.5g)を急須に入れて、90～100℃のお湯を注ぎ、約1分～2分置きます。その後、湯のみなどに注いでお飲みください。

手揉茶の独特な味・香り・コクを味わってください。

杜仲茶について

茶の歴史の中で一番古いお茶は杜仲茶と言えるでしょう。杜仲は「杜仲科トチュウ属トチュウ」と言う、一科一属一種で、世界でも例を見ない大変珍しい樹木です。6,000万年前は、世界の多くの地域で繁殖していましたが、現在の杜仲は恐竜が絶滅した氷河期を超えて生き残った生命力溢れる植物なのです。杜仲は、落葉高木で、20～30年位で高さ10～15mに達します。

遠い昔の、農業の神、火の神と言われた神農の神が、偶然に杜仲の葉と出会いました、それが「お茶」の原点と言われ今日に続いています。ちょっと苦いお茶でもなんのそのです。私の家族や私の小っちゃな娘も私も飲んでいきます。リラックスしたい時、ほっと一息(一服)したいときの心…「茶の文化」が家庭の中にあると思います。

紫 藍

編 集：「茶の文化」普及会

著 者：紫 藍

印刷製本：(株)RPSセンター

本紙の複製・盗用・無断転載を禁止します。